

土岐・運・来

会報「土岐・運・来」第33号
 発行 自然・馬・人の会
 発行日 2007年3月4日
 正会員 64家族
 協力会員 29家族
 賛助会員 2家族

小田原の町を飛び出して、山梨県の紅葉台に馬に乗りに行きました。

『楽しみにしていた木曽馬牧場に行くその日は、朝から曇り空で心配でしたが、仁志が終わるまで雨も待ってくれました。途中馬のおやつタイムに大喜び、だって仁志のバーチャル牧場には「クサタベトル」という馬を飼っているのですから。サドルバックでの道草が印象深かったです。すすきが原（私の命名）では私が感動！銀の穂先が風にゆれ、その中を行く仁志は従者を従えた（ごめんなさい）凛々しい若武者のようでした。泥だらけの道を仁志のために一緒に走って下さったみなさん、お馬さん、本当にありがとうございました。』

横浜市 古谷圭子



木々の緑、路傍の可愛らしい花々、まわりを囲む山々、澄んだ空気・・・。

自然の中での乗馬は最高でした。毎日、仕事に追われ、心に余裕もなく過ごしていましたが、9月からボランティアを始め3つの楽しみを見つけることができました。1つ目は、障害を持った方が馬に乗った時に見せる笑顔を見ること。

2つ目は、自然とふれ合えること。3つ目は、自分が馬に乗った時に、馬との一体感が生まれ、リラックスした気分を味わえること。なるほど、この会の名前は「自然・馬・人」の会なんだと納得し、改めてよい名前だと感心しました。今後も、乗馬を楽しみにされている障害を持っていらっしゃる方々を少しでもサポートし、たくさんの笑顔が見られたら嬉しいです。 真鶴町 ヒラタ

会を通じて馬に親しむようになり、夏休みを利用してカナダへ馬の旅に行ってきた人達もいます。



カナダの旅

カナダで馬に乗りながらキャンプをしました。メンバーはボランティアでお世話になってい るやぎさん、花形さん、中村さん、淳子と私で5人です。

最初の一泊はバンクーバーのホテルで優雅に一泊・・・のはずが何故か成田空港の床に寝袋で 寝てました。・・・飛ぶはずの飛行機が雷で欠航したのです。みなさん、成田空港で寝る機会 があれば5階のたこ焼き屋さんの隣がおすすめです！人が来なくて静かですよ。（普通泊まり ませんが・・・）

全ての予定が変ってしまう、と思いましたがやぎさんが携帯メールで日本からカナダに変更 手続きをしてくれました。おかげで一日遅れましたが、キャンプの日程は変らずに済みました。 やぎさん、すごい・・・！ケータイもすごい！！

カナダはとても広いです。キャンプをした場所は1日中、馬で歩いても他の人に会う事や家 などを見る事がほとんどありません。ずっと高原や湿地、岩山を歩き続けます。途中で一面 の花畠の中を通り、マーモットという大きなモルモットに会いました。

ガイドは若い女性二人でしたが、馬の扱いや荷物を馬に載せるのがとても上手くてたくましいです。キャンプでは冷たい川で顔や体を洗ったり、たき火でパンを焼きました。ガイドの犬 は首を振ると耳がバタバタと大きな音がして遠くにいてもどこにいるかすぐにわかります。テ ントで寝ていると今朝も聞こえる・・・バタバタバタ・・・

忘れられない1週間でした。みなさん、ありがとうございました。

鈴木

この程度のトラブルは旅のスパ
イス、と思えるくらい素晴らしいで
すよ。行きたい人は気軽に私に声を
掛けてください。 やぎ

会員の中には、他の団体の乗馬会のお手伝いに行く人もいます。 普段と違う場所、違う馬、違う人との経験を皆さんに伝えてください。

視覚障害者外乗サポートに！

視覚障害者の人たちの外乗乗馬会をサポートして欲しいと依頼され、9月初旬の晴れた日曜日の朝、新宿発8時14分ホリデー快速河口湖行きにて紅葉台牧場に。

騎乗者17人とサポートー6名の全員が馬場に集まり、本日乗る馬と人の割り振りを決め、馬7頭で3回に分けて、外乗へと出る事になりました。参加者は、全盲や弱視の人たちなので、馬に乗る前に、馬に直接触れてもらい、馬の色、顔、首、胴、尻、足等、馬の大きさや毛並みの手触り、体温等の感触にふれ、馬に対するイメージを広げてもらえる様に、そして、馬に乗る為に必要な手綱、ハミ、鞍、あぶみ等の説明をして、さあ外乗へ。

まず、馬の揺れの違い、馬場と山道との土の堅さや凸凹、ぬかるみ、水たまり、ジャリ道、アスファルトの道、道幅の広い所と狭い所を通る時、又、上り坂や下り坂等による、微妙なゆれの違いや体に受けるショックの度合い等状況の説明をしながら姿勢のチェックをして、道すがらのキャベツ畑やすすきの原等の風景説明等を入れてのサポートでした。

サポートに付く人数は全盲の人には、ひき手とサイドに1人で、他の人は、ひき手だけでした。小田原乗馬会の場合は、ひき手とサイド2人が付き添うので、安全面では、安心なところがあると思ましたが、今回は、少し乗り手に注意、緊張するのと状況や風景の説明をする事柄が多かったので、一人で手一杯の感じでしたが、終わってみると、もう少し多くの情報を伝えてあげたらばと思いました。

当事者の気持ちになって、物事を見ることの難しさを感じましたが、各人乗馬の経験の有る人も無い人も皆さん楽しんでもらえたので、うれしい思いで一日過ごすことが出来ました。全員の笑顔とてもよかったです。

川崎市 花形富雄



会の活動も10年ともなると、しばらくご無沙汰していた仲間が戻ってきてくれるようになりました。



自分は以前、英会話を習っていたのですが、そこで「自然・馬・人の会」でボランティアを募集しているというチラシを見たのがこの会との出会いになります。以来数年の間、建築業の仕事をしながらお手伝いをさせて頂いていたのですが、障害を抱えた方達のために役に立てるような仕事がしたいという思いが強くなり、作業療法士になろうと思いました。作業療法士の学校に入学できるか不安でいっぱいでしたが、高校の勉強を一からやり直し無事に合格することができました。学校へ行ってからも日々勉強の毎日を送っていましたが、平成一七年の3月に卒業をし、現在、作業療法士として湯河原厚生年金病院で働いております。学校へ通っている時にも「自然・馬・人の会」の皆様の事が気になってはいたのですが、学業等忙しくなかなかお手伝いに行く事ができませんでした。今年の4月によくお手伝いに行く事ができたのですが、その後も作業療法士の講習会等で忙しくお手伝いに行く事ができなく大変申し訳なく思っております。作業療法士としての知識や技術をさらに身につけ「自然・馬・人の会」のお役にたてればと思っています。次回またいつ参加できるか分かりませんが、今後ともよろしくお願い致します。

湯河原町 北村治



定期乗馬会の予定
4月15日(日)

一見、直接関係ないことを色々経験したり見たりして、それと馬を関連付けて考えてみることは、乗馬会のお手伝いをする人、特にそれぞれの責任者に役立つのではないかでしょうか。わざわざ結びつけて考えなくても、ふとしたときに関係なさそうなことがつながって、良いアイデアが出ることってありますよね。そして、それを実際にやってみる。それがうまくいけば自信につながる。うまくいかなかったら、また考えたり、経験者に聞いてみる。しばらくお休みしている皆さんも、色々なところで、色々な経験を積んでいただき、無理をせず、できる時だけ参加して、乗馬会を楽しんでください。

後援：小田原市
助成・寄付等：ともしひ基金果実事業・
富士ゼロックス端数クラブ・
㈱富士ゼロックス・
日本スポーツカード協会

「自然・馬・人の会」会長櫻井広利
〒250-0045 小田原市城山1-3-22
TEL0465-32-1308 FAX0465-32-1332
E-mail na-nhp@wb3.so-net.ne.jp(中村)
HP <http://shizen-uma-hitonokai.la.coocan.jp>
※ホームページアドレスが変更になりました。